

令和 8 年 1 月 2 9 日

**「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業
(通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告**

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、一昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) J-PEAKS 国際シンポジウム開催のお知らせ

3月2日(月)、本学では「異分野融合研究が拓く新展開 ― 放射光科学を起点として ―」をテーマとして、J-PEAKS の国際シンポジウム開催を予定しています。

本シンポジウムは翌3月3日(火)～4日(水)に開催される放射光科学研究所(HiSOR)主催の国際シンポジウム(The 30th Hiroshima International Symposium on Synchrotron Radiation)との連携企画として実施し、本事業の中核となる放射光科学を起点とした異分野融合研究の創出と、国際的な研究ネットワークの強化を目指します。

【開催概要】

- ・ 日時：2026年3月2日(月) 13:00～17:30(予定)
- ・ 会場：東広島芸術文化ホールくらら(大ホール)
- ・ 形式：対面開催(同時通訳あり)
- ・ 参加費：無料(要事前登録)
- ・ テーマ：「異分野融合研究が拓く新展開 ― 放射光科学を起点として ―」

※詳細・お申し込みはこちら>

<https://j-peaks.hiroshima-u.ac.jp/news/news-155/>

※HiSOR 国際シンポジウムの詳細はこちら>

https://www.hsrc.hiroshima-u.ac.jp/symposium/2026/30th_symposium.htm

(2) SEMICON Japan 2025 で半導体分野の研究成果を発信、学生が受賞

広島大学は、2025 年 12 月 17 日～19 日に東京ビッグサイトで開催された半導体関連国際展示会「SEMICON Japan 2025」において、J-PEAKS の連携大学である神戸大学と共同でブース出展を行いました。企業・大学・研究機関関係者など 150 名を超える方々に来訪いただき、本学 J-PEAKS の重点拠点である半導体領域における研究・人材育成の取組について、理解を深めていただきました。



また、全国 33 研究室の応募の中から本学黒木研究室の修士課程学生チームによる「廃炉・宇宙開発のための SiC 集積回路・イメージセンサ」をテーマとした研究発表が同展示会で開催された「SEMICON Japan アカデミア Award 2025」に入賞を果たすとともに、半導体業界を牽引する SUMCO 社が、次世代の研究開発を支援するために贈る、権威ある学術賞の一つである SUMCO 賞を受賞しました。



本学学生は、2023 年にも最優秀賞を受賞しており、今回の特筆すべき成果は本学の半導体分野における研究力と次世代人材育成に向けた教育力の高さを示しています。

本学は、J-PEAKS を通じて、次世代を担う学生を主体とした先端的研究を一層推進していきます。

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的とした事業。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。

広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されています。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室
未来共創科学研究本部
研究戦略部 研究戦略グループ 前田
TEL:082-424-5656
Mail: gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp



第 187 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 2

令和 8 年 1 月 2 9 日

令和 7 年度（2025 年度）市民公開講座

「オンナ・コドモの被爆と復興」

～資料が語る被爆の長期的社会影響と市民の生きる力～（1/31 開催）

広島大学平和センターは、広島平和記念資料館と共催で、令和 7 年度市民公開講座「オンナ・コドモの被爆と復興」を開催します。今年度は、あまり語られてこなかった女性と児童の被爆・復興をめぐる暮らしと生業の実態についてお話しします。参加費は無料で、広く一般の方々の参加を歓迎します。

■日時・会場

日時：2026 年 1 月 31 日（土）13:00～16:00（開場 12:30）

会場：広島平和記念資料館 東館地下 1 階 メモリアルホール

参加費：無料

定員：200 人

申込：事前申込制（申込締切：2026 年 1 月 30 日（金）12:00）

申し込みフォームはこちら→



■講座テーマ

「オンナ・コドモの被爆と復興」

～資料が語る被爆の長期的社会影響と市民の生きる力～

■登壇者

石田 芳文 広島平和記念資料館 館長

ファンデルドゥース 瑠璃 広島大学平和センター センター長

山口 響 長崎大学核兵器廃絶研究センター 特定准教授

四條 知恵 広島市立大学 広島平和研究所 准教授

平井 和子 一橋大学 ジェンダー社会科学研究センター 客員研究員

松永 健聖 大阪大学大学院 人文学研究科 博士後期課程学生

質疑応答、パネルディスカッションあり

■使用言語

使用言語：日本語、手話通訳あり

■背景と意義

広島大学は開学以来、平和研究とその教育活動を通じて、被爆の歴史と核兵器の非人道性を国内外へ伝えることを重要な使命の一つとしています。本公開講座は、平和センターの地域貢献活動の一環として、次世代へ被爆の実相と市民の生活史を語り継ぐための貴重な情報共有の機会を提供します。

■取材について

登壇者への取材が可能です。当日登壇者にお声がけください。

【お問い合わせ先】

平和センター

TEL: 082-542-6975(平日 : 9:30~16:30)

E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp



広島大学



広島大学平和センター
The Center for Peace, Hiroshima University



公益財団法人 広島平和文化センター
Hiroshima Peace Culture Foundation

科研費
JSPS23K22176



令和7年度（2025年度）市民公開講座

広島大学平和センター主催 広島平和記念資料館共催
一橋大学ジェンダー社会科学研究センター協力
国立大学経営改革促進事業

「オンナ・コドモの被爆と復興」 ～資料が語る被爆の長期的社会影響と市民の生きる力～

戦争、被爆、復興の動乱期に、広島・長崎の人々はどう生きたのか。貴重な資料と綿密な調査から、昭和の時代、足でまといの代名詞だった「オンナ・コドモ」の生きる力が浮き彫りになる。
原爆・被爆がもたらす中長期的社会影響を探り、被爆の実相をさらに深く理解したい。



がれきの中でこどもを背負い洗濯する女性
1945年（昭和20年）10月～12月 米国戦略爆撃調査団撮影 米国国立公文書館所蔵



広島平和記念資料館 地下1階メモリアルホール

2026年1月31日(土)13時～16時（開場12時30分）

手話通訳付き 参加無料 要予約（QRコードまたはお電話で）

電話受付 平日 9:30-16:30

広島大学平和センター

082-542-6975

申込期限 2026年1月30日正午

石田芳文

広島平和記念資料館

ファンデルドゥース

瑠璃
広島大学
平和センター

山口響

長崎大学
核兵器廃絶
研究センター

四條知恵

広島市立大学
広島平和
研究所

平井和子

一橋大学
ジェンダー
社会科学
研究センター

松永健聖

大阪大学
大学院
人文学研究科

広島大学平和センター主催 広島平和記念資料館共催 一橋大学ジェンダー社会科学研究センター協力
 国立大学経営改革促進事業

令和7年度（2025年度）市民公開講座「オンナ・コドモの被爆と復興」 ～資料が語る被爆の長期的社会影響と市民の生きる力～

広島平和記念資料館 地下1階メモリアルホール 2026年1月31日（土）13時～16時（開場12時30分）

13:00-13:05 開会の挨拶 ファンデルドゥース瑠璃 広島大学平和センター長

13:05-13:20

「戦争・原爆がもたらした女性・こどもの苦難～資料館の展示から～」



石田芳文（Yoshifumi ISHIDA）。広島平和記念資料館館長。広島大学法学部卒。1986年広島市役所入庁。市民局被爆体験継承担当課長、企画総務局連携推進担当部長、議会事務局長などを歴任。担当課長時に平和記念資料館再整備計画、被爆体験伝承者養成事業に携わる。2024年4月より現職。

13:20-13:35

「被爆地の復興と女性の生業および子どもへの影響」



ファンデルドゥース瑠璃（Luli van der Does）。広島大学平和センター長・大学院人間社会科学研究科准教授。博士（社会科学）。「占領下の『被爆地復興言説』と女性」、「戦争・原爆の世代間連鎖の実態と克服」、及び「記憶学」アジア拠点設置国際共同研究プロジェクト代表。成果に「戦争への終止符（法律文化社 2016年）」、「Forgetting Hiroshima (RUSI, 2025年)」など。ケンブリッジ大学出版学術誌「Memory, Mind, Media」編集顧問。

13:35-13:50

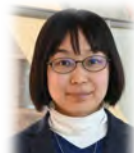
「長崎の被爆と〈復興〉——女性たちはどう生きてきたか」



山口響（Hibiki YAMAGUCHI）。長崎大学核兵器廃絶研究センター特定准教授・客員研究員。博士（社会学）。専攻は原爆投下後・戦後の長崎の歴史。活水高校等で非常勤講師。「長崎の証言の会」被爆証言誌編集長。長崎新聞客員論説委員（「ながさき時評」欄担当）。共著に、長崎大学多文化社会学部編『大学的長崎ガイド——こだわりの歩き方』（昭和堂、2018年）、共編著に長崎原爆の戦後史をのこす会他編『原爆後の75年——長崎の記憶と記録をたどる』（書肆九十九、2021年）。

13:50-14:05

「視覚的資料から見る西遊郭とその被害」



四條知恵（Chie SHIJO）。広島市立大学広島平和研究所准教授。博士（比較社会文化）。広島平和記念資料館学芸員、長崎大学核兵器廃絶研究センター客員研究員などを経て、2021年より現職。専門分野は、原爆被害の記憶・表象研究。著書に『浦上の原爆の語り——永井隆からローマ教皇へ』（未来社、2015年）。共編著に長崎原爆の戦後史をのこす会他編『原爆後の75年——長崎の記憶と記録をたどる』（書肆九十九、2021年）など。

14:05-14:20

「原爆被害と女性の『復興』への動員と排除」



平井和子（Kazuko HIRAI）。一橋大学ジェンダー社会科学研究センター客員研究員。専門は近現代女性史・ジェンダー史。博士（社会学）。静岡大学・大妻女子大学等の非常勤講師を経て、一橋大学ジュニアフェローなど。主な著書：『「ヒロシマ以後」の広島に生まれて』ひろしま女性学研究所、2007年上野千鶴子・蘭信三・平井和子編著『戦争と性暴力の比較史へ向けて』岩波書店、2018年『占領下の女性たち——日本と満洲の性暴力・性売買・「親密な交際」』岩波書店、2023年（女性史 青山なを賞受賞）など。

14:20-14:35

「被爆地の子どもは、なぜ語られ続けてきたのか」



松永健聖（Takemasa MATSUNAGA）。大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程学生。1997年、大阪府生まれ。戦後の「子ども」をめぐるポリティクスについてジェンダー史の視点から研究する傍ら大学の所在する豊中市役所と連携して官学協働の平和教育のあり方を模索している。摂南大学・大阪公立大学工業高等専門学校・奈良県病院協会看護専門学校非常勤講師。日本学術振興会 特別研究員（DC2）。

14:35-14:50

休憩

14:50-15:50

質疑応答とパネルディスカッション

15:50-16:00

閉会の挨拶 石田芳文 広島平和記念資料館館長



参加無料 要予約
 電話受付
 平日 9:30-16:30
 広島大学平和センター
 082-542-6975
 2026年1月30日正午 必着



第 187 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 3

令和 8 年 1 月 2 9 日

宇宙科学センター「かなた望遠鏡特別観望会」を開催します

広島大学宇宙科学センターは、2026 年 2 月 20 日（金）および 21 日（土）に、「かなた望遠鏡特別観望会」を開催します。

同センターでは、これまでに計 62 回の特別観望会を実施しており、今回の開催は第 63 回および第 64 回にあたります。

本観望会は、昨年に引き続き、夕方のまだ空が明るい時間帯から実施します。今回は、普段観察する機会の少ない「水星」を主な観望対象とし、そのほかにも三日月、土星、木星、オリオン大星雲の観望を予定しています。あわせて、4D 宇宙シアターの上映も行い、宇宙の魅力を多角的に体験していただきます。

記

日時：2 月 20 日（金）18:15～19:30

2 月 21 日（土）18:15～19:30

場所：東広島天文台（東広島市西条町下三永 695-1）

対象：どなたでもご参加いただけます

定員：各 80 人

事前申込：必要（申込期限：2 月 1 日（日））

往復はがきによりお申し込みください。

（往信裏面／1 グループ 5 人以内として①代表者の住所・名前・電話番号、②代表者以外の参加者の名前、③希望順に日時（A 及び B）、返信表面／代表者の郵便番号・住所・名前）

※応募多数の場合は抽選により決定します。

参加費：無料

その他：悪天候により中止する場合は、当日 14 時に以下の HP 上でお知らせします。<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hasc>

天文台は山の上にあるため、暖かい服装でお越しください。

取材について：当日の取材を希望される場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。2 月 21 日（土）のみ、取材いただくことが可能です。



【お問い合わせ先】

宇宙科学センター観望会係
TEL:082-424-3468



令和 8 年 1 月 2 9 日

令和 7 年度第 2 回
広島市立図書館・広島大学図書館連携講演会の開催
「まちづくりと図書館 ー広島市立図書館に期待することー」

図書館は、まちづくりとどのようにかわり、相乗効果を生み出していけるのでしょうか。

本講演会では、鳥取県立図書館におけるレファレンスサービスを起点とした「図書館×まちづくり」の実践事例や、倉敷市中心地での官民連携エリアプラットフォームの取組など、現場で得られた知見をもとに、これからの広島市立図書館に期待される役割について考えます。

広島市立中央図書館の移転を見据え、イベントとして開催し、市民・関係機関とともに、図書館が果たす新たな可能性を考えます。

開催日時：令和 8 年 2 月 11 日（水・祝）

14 時 00 分～15 時 30 分

会場：広島市総合福祉センター 5 階 大会議室 1・2

（広島市南区松原町 5-1 BIG FRONT ひろしま内）

講師：成清 仁士（なりきよ ひとし）氏

ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 人間生活学科 准教授

対象：一般市民

参加費：無料（事前申込制）

※本事業は「広島市高齢者いきいき活動ポイント」対象事業です。

定員：先着 60 人

申込方法：広島市立図書館ホームページ内の申込フォームより
お申込みください。

申込期限：定員に達したため既に締め切りました

主催：広島市立中央図書館、広島大学図書館

取材について：当日の取材を希望される場合は、下記のお問い合わせ先まで
ご連絡ください。



【お問い合わせ先】

図書館部図書館企画グループ
TEL:082-424-6226

まちづくりと図書館

-広島市立図書館に期待すること-



- ・入場無料
- ・先着60名
- ・広島市高齢者
いきいき活動ポイント
対象事業

まちづくりと図書館は、どのように接点を持ち、相乗効果を生んでいくことができるのか。鳥取県立図書館のレファレンスカウンターから実現した様々な図書館×まちづくりの取り組みや、倉敷市中心市街地での官民連携エリアプラットフォームの取り組みなど、実践から得た知見をもとに広島市立図書館のこれからへの期待をお話します。

とっとりえきまえマルシェ
(鳥取駅前ケヤキ広場 2017.10)

> 令和8年 2 月 11 日 (水・祝)
14:00-15:30

> 会場: 広島市総合福祉センター
5階大会議室1・2
広島市南区松原町5-1 BIG FRONTひろしま内

> 申込: 1月15日(木)9:00 受付開始
TEL 082-222-5542 または
ホームページの申込フォーム から



←広島市立図書館ホームページ

手話通訳・要約筆記の相談は、
1月25日(日)17:00まで

> 問合せ: 広島市立中央図書館 TEL082-222-5542

※移転に伴い臨時休館していますが、電話はつながります。
(月曜日、1/30(金)を除く)

主催: 広島市立中央図書館・広島大学図書館



講師

成清 仁士 なりきよ ひとし 氏

ノートルダム清心女子大学
人間生活学部人間生活学科 准教授

1980年生まれ。広島大学工学部卒、同大学院工学研究科博士課程単位取得満期退学。博士(工学)。鳥取市中心市街地活性化協議会タウンマネージャー、鳥取大学准教授などを経て、2020年より現職。第1回地方創生レファレンス大賞文部科学大臣賞受賞(2015)、倉敷美観地区および周辺エリア「くらしきになるエリアプラットフォーム」の活動で、(公財)日本ユネスコ協会連盟中国ブロック「ESD活動顕彰」受賞(2025)。

岡山市出身、倉敷市在住。専門分野は建築史・意匠学。



第 187 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 5

令和 8 年 1 月 2 9 日

AI・DX 経営イノベーション促進プログラム
「リスキリング×AI・DX×イノベーションを実現する経営者を
目指して！」
～実践する事例に学ぶ～（全 6 回開催）

広島大学では、AI・DX を経営に活かし、イノベーションを創出できる経営人材の育成を目的に、「AI・DX 経営イノベーション促進プログラム」を開催します。

本プログラムは、経営者のリスキリングを軸に、AI・DX の活用と実践事例を学ぶ全 6 回の実践型講座です。

■開催期間：2025 年 12 月 15 日 ～ 2026 年 3 月 26 日（全 6 回）

■主催：広島大学 AI・データイノベーション教育研究センター

■対象：中堅・中小企業の経営者・経営層等

■定員：40 人

■参加費：無料

■修了証：広島大学デジタルバッジを発行

■主な内容（全 6 回）

第 1 回：2025 年 12 月 15 日（月）

リスキリングがつなぐ 人的資本経営と地域創生

第 2 回：2026 年 1 月 16 日（金）

「DX の経営、基礎の基礎」～DX 推進の実践から学ぶ～

第 3 回：2026 年 2 月 5 日（木）

「究極の DX」～技術的視点から DX のあり方を展望する～

第 4 回：2026 年 2 月 26 日（木）

「イノベーションの進め方」～グループワークで考える～

第 5 回：2026 年 3 月 19 日（木）

「マツダの MDI (Mazda Digital Innovation)・MAX (Mazda AI Transformation) による業務革新」及びマツダミュージアム視察

第 6 回：2026 年 3 月 26 日（木）

「広島のパテンシャルを世界に！新たな「Pride of Hiroshima」を求めて」

■会場：広島大学 東千田キャンパス 慎思棟 5 階 SENDA LAB

※第 5 回のみマツダ株式会社本社にて実施

■形式：対面を基本、オンライン・オンデマンド対応あり

※第 5 回は現地開催のみ

■申込：専用 Web フォームより受付

■申込期限（各回共通）：2025 年 12 月 12 日（金）

※既に申込みは締め切りました。

■その他：全ての回に参加できない場合も、お申込み可能です

申込フォームはこちら



■取材について：取材をご希望の際は、下記のお問い合わせ先まで事前のご連絡をお願いします。

広島大学 AI・データイノベーション教育研究センター

AI（人工知能）・DS（データサイエンス）・ICT（情報技術）の実践的な研究開発とリカレント教育の提供、地域企業との連携による研究力の強化やイノベーション創出などに取り組みことを目的として、令和 2 年に設置された拠点です。

国内の AI・データサイエンス教育研究の拠点として発展させ、地域創生に貢献していきます。



ウェブサイトはこちら

【お問い合わせ先】

広島大学 AI・データイノベーション教育研究センター
E-mail：aidi-jimu@hiroshima-u.ac.jp